

# 道徳通信

野々市市立野々市中学校 令和2年 6月26日(金) NO. 1

この通信では、野々市  
市中学校での道徳  
に関する取組を紹介  
していきます！



新年度が始まった途端、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、臨時休業となり、6月に入ってようやく学校が再開されることとなりました。例年のない事態に戸惑いや不安も感じていることと思います。しかし、自分の考え次第で、道はどれだけでも開けます。それぞれが今できることに精一杯取り組み、未来への道をつなげましょう。

さて、本通信は「道徳通信」と題して、野々市中学校での「道徳」に関する取組内容を紹介するものです。昨年度の4月から中学校でも、「道徳」の教科化がスタートし、週に1時間の「道徳科」の授業を積み重ねてきました。生徒と教師がともに考え、学び合う時間になればと思っています。

また、本通信を発行することで、学校・家庭・地域の連携を図りながら、子どもたちの道徳性をさらに育てていければと考えています。ぜひご家庭でも「道徳」について話題にしてみてください。そして、生徒の皆さんも、授業はもちろん、さまざまな場面でさまざまな考えに触れ、自分の見方・考え方を広げ、深めていってください。

## ◆「道徳科」の時間では、どんなことを学習しているのでしょうか？

道徳の内容は、全学年、以下の4つの視点があります。それらの内容について資料をもとにしながら、1年間でまんべんなく学習するように計画して進めています。

- A 主として自分自身に関すること（自主・自律、節度・節制、向上心、個性の伸長、強い意志など）
- B 主として人との関わりに関すること（思いやり、感謝、礼儀、友情・信頼、認め合う心など）
- C 主として集団や社会との関わりに関すること（よりよい学校生活、集団生活の充実など）
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること（生命の尊さ、自然愛護、感動など）

※これらの内容は決して学校の中だけで学ぶものではなく、それぞれのご家庭の中でも、普段から大事にされていることかと思えます。今後も学校と家庭の両方で意識を高めていきましょう。

## ◆生徒の声！「道徳科」の時間は何をする時間だと思う？

- ・“自分ならどうするか”を色々な話を通して考え、自分と向き合う。
- ・生活していく中での人との関わり方を学ぶ時間。
- ・自分のことや社会のことなどに対する自分の考えを深めて、身の回りに目を向ける時間。



### 【お知らせ】

学校ホームページに、「道徳科オリエンテーション」という動画を掲載しています。「生徒の皆様へ」下方の「野っ中チャンネル」からご視聴可能です。授業のオリエンテーションでも活用しています。ぜひご覧ください。

# 3年生の授業より

## 「背番号15が歩んだ道—黒田博樹」



3年生の全クラスで、元プロ野球選手の黒田博樹さんの話を取り上げ、考えを交流しました。MLBで活躍し、その後再び広島カーブに戻ってきた彼の野球人生から、さまざまなことを感じとることができました。



黒田選手が大切にしている言葉

## 「耐雪梅花麗」

### ～授業の振り返り～

私は、人に愛される人は思いやりあふれる人だと思っていたけど、今日の授業を通して、それだけではないと思いました。例えば、黒田さんは自分の「メジャーに挑戦したい」という思いを大切にしていました。自己中なのかな、と一瞬思ったけど、その裏には、「みんなに夢と元気を与えたい」「カーブファンの方々にも成長しているところを見せて感謝の気持ちを伝えたい」という思いもあったかもしれないと思いました。黒田さんが愛された理由は、黒田さん自身が野球、ファンを愛していたからではないでしょうか。

周りに愛される人間は、黒田選手のようなチャレンジし、誰かのために歩いていく人だと思った。そういう人がいい人間になっていくんだと思った。

黒田選手は、何事にもチャレンジして、人のことも大切にできるからこそ周りの人たちに愛されていたのだと感じました。このことを学んで、自分も夢をあきらめずにチャレンジしたいと思いました。

人に愛される生き方とは、自分を好きだと言ってくれる人への恩を忘れず、誰にでも優しくでき、周りに流されない（自分をしっかり持っている）人だと思いました。黒田選手は、自分の「ファンを大切にする」「夢を諦めない」という信念をつらぬいたんだと思います。

努力している人は応援されると分かった。自分も応援される人になりたいと思った。

黒田選手の最後の試合をTVで見えていましたが、ファンに囲まれてプロ野球人生を終えた彼は本当にかっこよかったし、誰もが認める男の中の男だと思いました。プロを引退してもなおこうして語り継がれていることが彼が素晴らしい人間だという何よりの証拠だと感じました。

黒田さんはお金のためだけでなく、自分のため、ファンのために生きたからこそ愛されたんだと分かった。また、他人のために努力したり、挑戦したりするのは、素晴らしいと思った。

声援、応援してくれる方々は自分もプレーをしているときに力になるので、ファンが好きというのは共感できる部分。自分も周りに愛される人はどういう人なのかをよく考えて、日々言動を意識したいです。

他学年の授業内容は次回紹介いたします。